



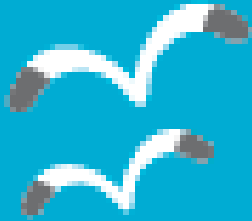
久万高原町:ゆりぼう



伊予市:ミカンまる



東温市:いのとん



四国カルストから道後、瀬戸内へ

連携中枢都市圏（松山圏域）

取組状況

平成30年10月3日



砥部町:とべっち



松山市:はっぴーカバー君



松前町:マッキー

●松山圏域の将来像

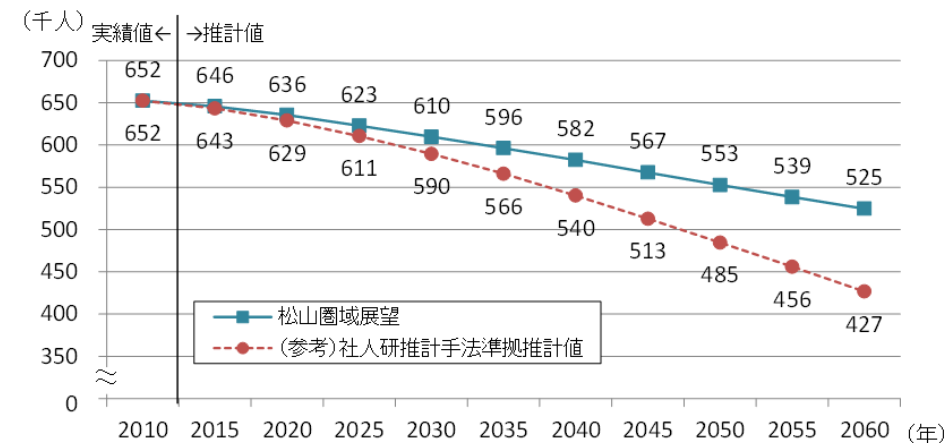
～四国カルストから道後、瀬戸内へ～

やま・まち・うみ・ひと、暮らし彩るみんなの松山圏

●人口等の将来展望

愛媛県や圏域市町の人口ビジョン・総合戦略を踏まえ、各市町での自然減抑制のほか、圏域全体として、愛媛県の人口流出を食い止めるダム機能を果たすとともに、全国から移住・定住先として選ばれる地域を目指すものとし、圏域内市町人口ビジョンでの将来展望人口の合算を松山圏域の将来展望とします。

松山圏域における人口将来展望



●人口の将来展望 (2060年)

約52.5万人

●年齢3区分別構成比の将来展望 (2060年)

- ・0～14歳：15.4%
- ・15～64歳：52.3%
- ・65歳以上（高齢化率）：32.3%



圏域づくりの基本方針

圏域の将来像及び人口の将来展望を見据え、「圏域全体の経済成長のけん引」「高次の都市機能の集積・強化」「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の3分野における圏域づくりの基本方針を以下のとおりとします。また、それぞれの分野における具体的な取組の効果を検証するため、分野ごとに成果指標（KPI：Key Performance Indicator）を設定し、取組の進捗を管理します。

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ①市町の特長を生かした一体的な産業振興と企業活動支援 ②農林水産物のブランド化と6次産業化による販路拡大 ③山・街・海をつなぐ広域観光の推進
成果指標 (KPI)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所数 ・従業者数 ・圏域内総生産 ・観光客数

(2) 高次の都市機能の集積・強化

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ①安全・安心の圏域づくり ②広域的公共交通網の構築と圏域拠点の整備 ③圏域における課題解決機能の向上
成果指標 (KPI)	<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通拠点（JR松山駅、松山空港、松山観光港）の乗降客数

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ①医療・介護・福祉サービスの充実 ②結婚・出産・子育て支援の充実 ③文化・スポーツ施策等を通じた圏域の活性化 ④災害対策の推進 ⑤環境保全施策の推進 ⑥暮らしたい・戻りたいと思える圏域づくり ⑦圏域内行政サービス効率化等の推進
成果指標 (KPI)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会移動数 ・出生率（人口千対） ・污水处理人口普及率 ・防災士数 ・暮らしやすさ満足度

松山圏域連携中枢都市圏のこれまでの歩み

圏域形成に至った経緯

- 人口減少対策に伴う地方創生総合戦略を策定する過程において、圏域内市町が危機感を共有し、人口減少局面にあっても地域を活性化し、住民が安心して快適な暮らしを持続できるよう平成28年7月8日、連携協約を締結し、連携中枢都市圏構想に基づく松山圏域を形成した。

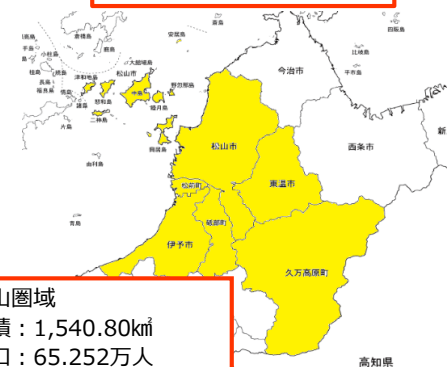
今後の展開

- 「経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」の分野についても個別協定の締結等を推進。
- 特に行政境周辺において効率的な施策を積極的に展開する。（下水道・保育・消防・介護等）

松山圏域連携中枢都市圏 連携



松山圏域の位置と概要



松山圏域
面積：1,540.80km²
人口：65.252万人
世帯数：27.576万世帯

分野1：圏域全体の経済成長のけん引

広域観光連携推進協議会による観光戦略展開

- 松山市・東温市・砥部町の2市1町で「広域観光連携推進協議会」を構成し、温泉をテーマとした割引チケットの作成・県外イベント等での配布、日本酒をテーマとした「酒蔵ツーリズム」の旅行商品化に向けた協議、ドローンによる観光映像素材の撮影などを行っている。



温泉施設割引券

分野2：高次の都市機能の集積・強化

松山外環状線（基幹道路）の延伸

- 国道56号線～松山IC「インター線」（H28.12.10）「空港線」側道部（H29.9.18）開通により空港～松山IC間が6割、時間短縮となった。



松山アーバンデザインスクール

- 「公×民×学」連携によるスクールを圏域内市町で開催し、広域のまちづくりを担う人材を育成。



分野3：圏域全体の生活関連機能サービスの向上

病児・病後児保育、保育を必要とする子どもの広域受け入れ

- 平成28年11月1日から広域受け入れを開始。松山市の全ての病児・病後児保育事業実施施設で広域利用を受け入れ、平成29年度は186人の広域受け入れを行った。



出会いイベント等による婚活支援事業の連携・共同実施

- 平成28年7月29日、婚活支援に関する協定締結。圏域内市町が主催する結婚支援イベントをそれぞれの市町で1回ずつ開催するとともに、未婚者の親が参加する婚活交流会を松山市内で2回開催。



圏域を一体化するプロスポーツ支援

- 地域プロスポーツクラブ愛媛FCと愛媛マンダリンパイレーツの公式試合に「松山広域デー」「中予広域の日」を設け圏域を挙げて応援。



個別連携協定の締結

- 図書館連携に係る協定
- 救急ワークステーション
- 圏域浄化槽普及協定
- 広報紙連携協定 等8協定
- その他、2実行委員会を設立



平成30年度 第1回 松山圏域活性化戦略会議 資料

松山圏域活性化戦略会議事務局

(松山市総合政策部企画戦略課)